

令和6年度高知県デジタルデータ活用事業委託業務
公募型プロポーザルに係る質疑について（回答）

令和6年3月7日

Q 1	地域コーディネーターの配置について、期間中における配置場所（高知県庁内に常駐それとも基本は遠隔からで可能？）や対応する日時（平日のみ？時間の決まり事は？）等、必要となる条件があればご教授いただけないでしょうか。
A 1	<p>地域コーディネーターの配置、活動場所の指定はありません。（高知県庁内での常駐はできません。）</p> <p>分析ツールの利活用や広域観光組織等の実証事業の支援などについては、主に広域観光組織や高知市の事務所に訪問して協議や指導をしていただくことを想定していますが、状況に応じてオンラインやメールを併用していただくことは問題ありません。</p> <p>支援日時は、広域観光組織や県の営業時間内で、平日、9:00～17:00 の間に設定することが多くなりますので、この間に活動いただける方を配置してください。特に、実証事業の実施にあたっては、オンライン協議やメール等での状況共有を伴いつつ、1広域観光組織あたり平均月1～2回対面での打合せが必要ではないかと想定しています。</p>
Q 2	募集要領8参加申込及び資格要件の確認について、提出書類の「都道府県税の納税証明書」及び「消費税及び地方消費税の納税証明書」は原本での提出が必要でしょうか。
A 2	原本の提出は不要です。高知県の物品購入等に係る競争入札参加資格者登録名簿（令和6年度～令和8年度）に登録されている場合は、納税証明書の添付を省略できます。入札参加資格を有しない者で「競争入札参加資格審査申請書」を令和6年3月8日（金）までに総務事務センターに提出する場合は、納税証明書の写しをご提出ください。
Q 3	可読性を高めるために企画提案書へ中表紙の挿入を考えております。挿入した場合、中表紙もページ数の制限に含まれるでしょうか。
A 3	中表紙を挿入した場合、中表紙もページ数の制限に含まれます。